



—元首長座談会—

○日時 1月15日(金)  
○場所 ホテルグランシェール花巻

元首長座談会  
合併から10年、未来に向けて

対談者



元花巻市助役  
山口紀士 さん



元大迫町長  
佐藤共成 さん



元石鳥谷町長  
高橋公男 さん



元東和町長  
小田島峰雄 さん



【進行役】  
花巻市副市長  
亀澤健 さん

(以下、本文中敬称略)



**亀澤** 平成18年1月1日、旧花巻市・大迫町・石鳥谷町・東和町が合併し、ことしで丸10年を迎えました。今日は、旧市町の首長さんにお集まりいただきましたが、旧花巻市からは昨年ご逝去されました渡辺勉元市長に代わり、山口元助役にお越しいただきました。それでは、合併の経緯や合併から10年の振り返りについてお話を伺います。

合併までの道のり

**佐藤** 平成の大合併は国策でもあったわけで、時代の流れとして国全体がそういう時期を迎えた中で進んだことだと思います。

**小田島** 東和では、1市3町の合併の意見のほか、昭和30年の合併議論の経過を引きずって北上との合併の意見や、それができなければ東和のままいくべきという意見なども噴出し、町を二分してのさまざまな議論がありました。

**高橋** 既に花巻地方では農協が

合併しており、行政も広域行政研究会が平成12年にできていて、1市3町が一緒に歩んでおりました。しかし、いざ合併となると、先人の皆さんが築いてきた石鳥谷町の50年の歴史を閉じるわけですから、断腸の思いでありました。その中で、合併するのであればこれまでも共に歩んできた花巻地方1市3町が最良だと考えておりました。いろいろな思いがあったわけですが、やはり合併して良かったと思っています。

**山口** この場に渡辺勉元市長さんのおいでになれば良かったのですが、残念ながら去年お亡くなりになりました。ただいま3人の元町長さんの当時の複雑な思いをお聞きし、随分ご苦労されたらうと思いましたが、平成の合併は国策として、馬の鼻先に餌をぶら下げて走らされたような、それもゴールを決めて走らされたような、そんな思いが皆さんもおありかと思えます。ただ、合併の評価はもっとも時と場合が異なると思います。今、人口が減り、現に10万人を割っ

ているわけですが、その辺を踏まえながら良い方向にもっていかれると思います。

合併協議を振り返って

**山口** 合併協議の中で、1市3町ができるだけ早く意思疎通を図っていくにはどうしたらいいか。そうした議論が思い出されます。

**高橋** 議論しましたね。合併特例法による自治区と地方自治法上の自治区、合併する以上それぞれの殻を作ってしまったのでは意味がないとすぐ議論しました。結果として、地方自治法上の自治区とし、それぞれの際をを残した上で、一つの大きな市になるというところで間違っていないか。感じています。合併前に策定した石鳥谷町の将来ビジョンは新市建設計画に入れたわけですが、それで良かったと思っています。

**佐藤** 行政圏としてどれくらいの規模がいいのかということも議論しました。住民中心に